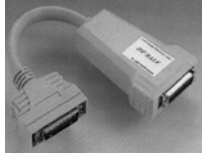
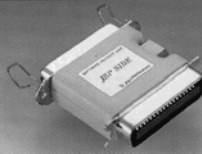
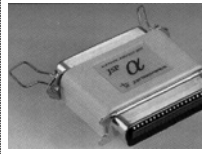
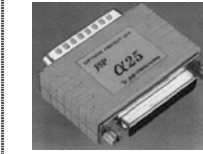


< プロテクトのインストール方法 >

JSP プロテクト

36ピンハーフ (ノートユニット)	JSP PMA	JSP-	JSP- 直付
			
ノート型・デスクトップ のプリンタの差込口 に取り付けるタイプ	プリンタケーブルの先端 に取り付けるタイプ	プリンタケーブルの先端に 取り付けるタイプ	コンピュータに直接取り付 けるタイプ (Nx[DosV]機専用)

36ピンハーフ(ノートユニット)、JSP PMA は、Windows XPに未対応です。

JSPプロテクト(36ピンハーフ、JSP PMA、JSP-、JSP- 直付)は、Windows Vistaに未対応です。

HASP プロテクト

HASP36	Memo HASP	USB HASP
		
プリンタケーブルの先端 に取り付けるタイプ	コンピュータに直接取 り付けるタイプ	USBの差込口に取り 付けるタイプ

USB HASP は、Windows NTでは認識しません。

S/F シリーズを新規インストールする場合の注意事項

- ① **HASP プロテクト**を使用する場合、通常は、S/FシリーズのCDインストール時、自動で設定します。
「HASP プロテクトについて」を参照して下さい。
- ② **USBHASP プロテクト**を使用する場合、下記の手順でシステムをインストールして下さい。
 - 1) USBHASP をパソコンに接続せずに、CDを挿入します。
 - 2) SF Depend が実行されます。終了しましたら、パソコンが自動再起動します。
(再起動せずにインストールメニューが起動した場合は終了し、パソコンを再起動して下さい。)
 - 3) USBHASP をパソコンに接続します。
 - 4) CDを挿入し直します。インストールメニューが起動しますので、インストールを行います。

※USBHASP を接続したまま SF Depend を行いますと、USBHASP を認識しない場合があります。万が一、プロテクトを認識しない場合は、コントロールパネル→アプリケーションの追加と削除で、S/F シリーズ 依存ファイル を削除し、パソコンを再起動し、再度上記の手順でインストールを行ってください。

※東芝 Dynabook シリーズで HASP が認識されない場合があります。
「HASP プロテクトについて」を参照して下さい。



③WindowsNT で JSP プロテクトを使用する場合、下記の手順でシステムをインストールして下さい。

プロテクト種類：JSP- α 、JSP- α 直付の場合

- 1) エクスプローラでCDのドライブを開きます。
- 2) CDの中の「プロテクト」フォルダを開きます。
- 3) 「プロテクト」フォルダ内の「Alpha」を開きます。
- 4) 「Alpha」フォルダ内の「WinNT」を開きます。
- 5) KGSYSV10. SYSとKGSIV10. EXEをコピーし、「WINNT¥System32」フォルダに貼り付けます。
- 6) 「WINNT¥System32」フォルダ内のKGSIV10. EXEをダブルクリックで起動します。

プロテクト種類：36ピンハーフ、JSP PMA-IIの場合

- 1) エクスプローラでCDのドライブを開きます。
- 2) CDの中の「プロテクト」フォルダを開きます。
- 3) 「プロテクト」フォルダ内の「Half」を開きます。
- 4) 「Half」フォルダ内の「WinNT_2k_Xp」を開きます。
- 5) フォルダ内すべてのファイルをコピーし、「WINNT¥System32」フォルダに貼り付けます。
- 6) 「WINNT¥System32」フォルダ内のJ32SIV10. EXEをダブルクリックで起動します。

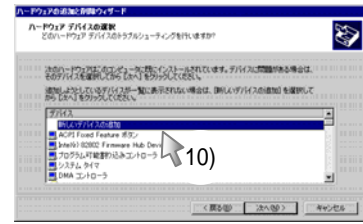
④Windows2000 で JSP プロテクトを使用する場合、下記の手順でシステムをインストールして下さい。

プロテクト種類：JSP- α 、JSP- α 直付の場合

- 1) エクスプローラでCDのドライブを開きます。
- 2) CDの中の「プロテクト」フォルダを開きます。
- 3) 「プロテクト」フォルダ内の「Alpha」を開きます。
- 4) 「Alpha」フォルダ内の「Win2k_Xp」を開きます。
- 5) 「Win2k」フォルダ内の「Parallel」を開きます。
- 6) KGSYSV20. SYSとJSP_W2K. INFを「WINNT¥System32」フォルダに貼り付けます。
- 7) スタートメニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択してコントロールパネルを開きます。
- 8) [ハードウェアの追加と削除] アイコンをクリックして、[ハードウェアの追加と削除ウィザード] を開始します。
- 9) [ハードウェアに関する作業の選択] では、[デバイスの追加 / トラブルシューティング] を選択して次に進みます。



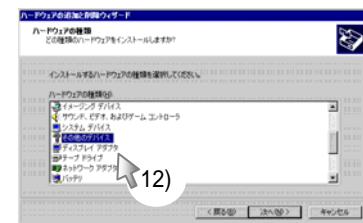
- 10) [ハードウェアデバイスの選択]では、[デバイス]リストから[新しいデバイスの追加]を選択して次に進みます。



- 11) [新しいハードウェアの検索]では、[いいえ、一覧からハードウェアを選択します]を選択して次に進みます。



- 12) [ハードウェアの種類]では、[ハードウェアの種類]リストから[その他のデバイス]を選択して次に進みます。



- 13) [デバイスドライバの選択]では、[ディスク使用] ボタンをクリックし、6)の「WINNT¥System32」ファイルがあるフォルダを指定します。フォルダを選択後、インストール可能なドライバの種類が[モデル]リストに表示されるので、[JSP Alpha]を選択して次に進みます。



- 14) インストールの確認メッセージに回答し、インストールを完了します。



- 15) JSPプロテクトのドライバーのインストールを終了します。コンピュータを再起動して下さい。

プロテクト種類：36ピンハーフ，JSP PMA-IIの場合 (WindowsXPには対応していません。)

- 1) エクスプローラでCDのドライブを開きます。
- 2) CDの中の「プロテクト」フォルダを開きます。
- 3) 「プロテクト」フォルダ内の「Half」を開きます。
- 4) 「Half」フォルダ内の「WinNT_2k_Xp」を開きます。
- 5) フォルダ内すべてのファイルをコピーし、「WINNT¥System32」フォルダに貼り付けます。
- 6) 「WINNT¥System32」フォルダ内のJ32SIV10. EXEをダブルクリックで起動します。

⑤WindowsXPでJSPプロテクトを使用する場合、下記の手順でシステムをインストールして下さい。

プロテクト種類：JSP-α，JSP-α直付の場合

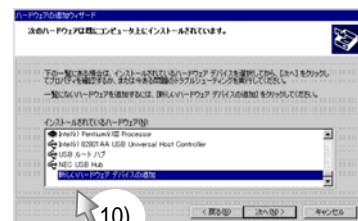
- 1) エクスプローラでCDのドライブを開きます。
- 2) CDの中の「プロテクト」フォルダを開きます。
- 3) 「プロテクト」フォルダ内の「Alpha」を開きます。
- 4) 「Alpha」フォルダ内の「Win2k_Xp」を開きます。
- 5) 「Win2k_Xp」フォルダ内の「Parallel」を開きます。
- 6) KGSYSV20. SYSとJSP_W2K. INFを「WINDOWS¥System32」フォルダに貼り付けます。
- 7) スタートメニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択してコントロールパネルを開きます。
- 8) [ハードウェアの追加と削除] アイコンをクリックして、[ハードウェアの追加と削除ウィザード] を開始します。



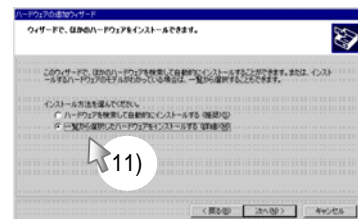
- 9) [ハードウェアに関する作業の選択] では、[はい、ハードウェアを接続しています] を選択して次に進みます。



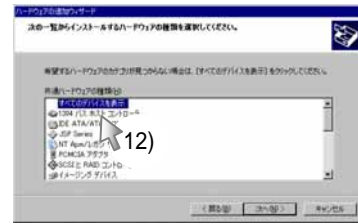
- 10) [ハードウェアの接続] では、[新しいハードウェアデバイス追加] を選択して次に進みます。



- 11) [新しいハードウェアの検索] では、[一覧から選択したハードウェアをインストールする] を選択して次に進みます。



- 12) [ハードウェアの種類] では、[共通ハードウェアの種類] リストから [すべてのデバイス] を選択して次に進みます。



- 13) [デバイスドライバの選択] では、[ディスク使用] ボタンをクリックし、6) 「W I N D O W S ¥ S y s t e m 3 2」のファイルがあるフォルダを指定します。フォルダを選択後、インストール可能なドライバの種類が [モデル] リストに表示されるので、[JSP Alpha] を選択して次に進みます。



- 14) インストールの確認メッセージに回答し、インストールを完了します。



- 15) J S P プロテクトのドライバーのインストールを終了します。コンピュータを再起動して下さい。

プロテクト種類：36ピンハーフ，J S P P M A - I I の場合
Windows XPには未対応です。

Hasp プロテクトについて

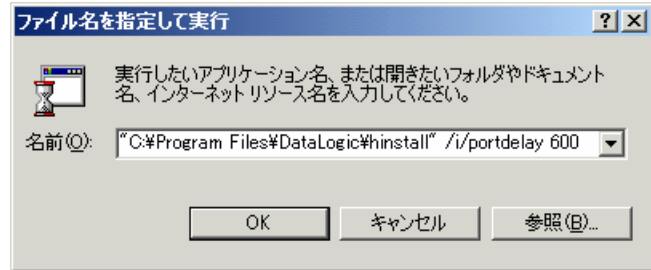
- 東芝 Dynabook シリーズでパラレルポート用 HASP が認識されない場合があります。

この場合は、SF Depend のインストール終了後、Hinstall.exe に以下のスイッチをつけて HASP ドライバのインストールをお願いいたします。

hinstall /i/portdelay 600 (右図参照)

スタートファイル名を指定して実行を選択します。

この障害は東芝マシンのプリンタポートの応答速度が、他の一般マシンと比較して若干遅いため、HASP のソフトのタイムアウトに引っかかっていた為、起こっていたものです。Portdelay スイッチによりタイムアウトを長く設定させるものです。



- HASP Device Driver (新プロテクト) の導入

通常は、SF シリーズの CD インストール時、自動で設定します。

HASP でプロテクトされたプログラムを動かす場合は、必ず HASP のデバイスドライバが必要となります。HASP デバイスドライバは以下の手順で導入してください。

- ①デバイスドライバセットアッププログラム (drivers¥install¥cmdline¥hinstall.exe) を DOS プロンプトまたはスタートボタンの「ファイル名を指定して実行」から以下のように実行して下さい。

```
hinstall - i -nomsg
```

- ②デバイスドライバセット後に以下のように hinstall を起動しますと、その情報が取得できます。

```
hinstall -info
```

- ③NEC PC98 シリーズで PC-CardHASP を使用する場合は、デバイスドライバのパラメータの lpt1 を以下のようにコマンド形式で、378 にセットし直して下さい。

```
hinstall - i -nomsg -lpt1=378
```

- ④USBHasp を使用する場合は、まず①の操作を行ってください。次に USBHasp をマシンに取り付けて下さい。
⑤お客様のプログラムから HASP のデバイスドライバをセットするための API を提供しております。この語説明書を別途用意しておりますので、必要なお客様は以下のサイトからダウンロードをお願いいたします。

ftp://ftp.aladdin.co.jp/pub/Doc/hdd4_02.doc

HASP CD のインストール時に、「Device Drivers」の中で「Install Samples」を指定していただきますと、drivers¥drvapi¥win32 に各コンパイラ名のディレクトリができ、API 使用のサンプルが作られます。ご参照ください。